

JR東日本が車両メンテナンス職場の合理化を提案 安全・安定輸送はみんなの願い！

安心して運転ができるように！



私たち電車の運転士は、朝夕のラッシュ時には二千人を超えるお客様を乗せて運転しています。運転間隔が短く、時速九〇キロを超えるスピードを出しても安心して運転できるのは、同じJR社員が責任をもって、車両の性能・安全性を維持しているからです。車両のメンテナンスが外注化になると、安全の拠りどころが曖昧になり、安心して運転できません。

安心して案内ができるように！



お客様にとって電車が時刻表通りに来ることが生活の一部になっていきます。私たち駅社員がお客様に安全で安心して利用できる電車を案内できるのは、車両をメンテナンスしている社員の経験と技術を信頼しているからです。外注化のしわ寄せはいつもお客様です。駅の民間委託と合わせて、車両のメンテナンス外注化は、どんな言い訳をしても、お客様の信頼を損なうものです。

安全はお客様のために！



私たち鉄道事業者が求められていることは、今も昔も「安全安定輸送」、「故障のない車両」、「お客様を思いやったサービス」です。しかし、安全を最優先に考えるならば会社が新しく提案した「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」は、車両の安全・性能を維持することに逆行するものです。

私たち国労は、将来にわたり鉄道の安全・安定輸送を守りお客様の期待に応えるため、この合理化提案に対して修正・見直しを求めています。



国労東日本運転協議会